

## 令和3年度 学校評価結果報告書

桶川市立朝日小学校  
校長 内田 則子

## 1 目指す学校像

《活力あふれる魅力ある学校》

- ・児童にとって楽しい学校
- ・安心・安全に配慮し、美しい学校
- ・保護者・地域に信頼される学校

## 2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校教育目標の達成のために、日常の教育活動が適切に行われている。	A	・「思いやりのある子(徳) 進んで学習する子(知) たくましい子(体)」の育成に向け、保護者に周知し、その達成のための教育活動を展開している。	・児童の作品を掲示し、児童のヤル気をさかせています。
	2	分掌の主任を中心に課題を共有し、反省を生かして計画を立て、実践している。	B	・今年度の反省を確実に次年度に引き継げるよう「業務報告」にまとめ、引き継いでいる。	
学習指導	3	年間指導計画及び評価基準に沿って授業を展開している。	A	・毎月末の週案、年間指導計画チェック表の提出、管理職の定期的な教室訪問で、今後も授業内容の量的・質的内容を確認していく。	・オンライン学習も加わり、調べ学習等一人一台になり充実しているが、クロームブックが悪用されないように注意喚起が必要です。 ・授業を参観しました。先生の教えに熱心が伝わりました。 ・先生方が児童一人一人に声をかけてくださる場面や、児童から先生方に質問や伝えたいことなど話している場面を見ると、先生方と児童のコミュニケーションが良くとれていると感じます。
	4	基礎基本の確実な定着や活用する力の伸長を図っている。	A	・日々の授業における繰り返し学習、ICT機器の導入、習熟度別学習により、基礎基本の確実な定着を図っている。	
	5	児童の実態に基づいて少人数・学び合い等の学習形態の工夫をし、わかる・できる喜びを感じさせる授業をしている。	A	・どの授業においても、「学び合い」「ふりかえり」を積極的に取り入れている。 ・算数科におけるTTや習熟度別指導、少人数指導を学年の実態に応じて行ったが、学ぶ楽しさを感じさせる工夫が必要である。	
	6	テストや全国・県学習状況調査の結果を分析し、必要な学力補充策を行っている。	B	・全国・県学習状況調査の結果分析から学力向上への対策等の組織的な取組が必要である。 ・単元末まとめテストの結果を分析し、各学年の傾向を把握することができた。	
	7	家庭学習の習慣を付けるよう取り組んでいる。	A	・宿題の出し方や家庭学習については、学年内で統一した取組を行う。	
生徒指導・教育相談	8	児童の豊かな心と公正な判断力を養い、思いやりのある行動がとれるようにしている。	A	・学級ごとの挨拶運動は、コロナ禍のため実施できなかった。元気の良さに欠ける児童の実態がある。全体としては落ち着いているが、挨拶については、まだまだ課題がある。	・いじめによって気力や意欲を失わず、自己肯定力をつけて豊かな人生を歩んでほしいと心から願っています。 ・下校時の交通マナーが悪い。歩道のないところは右側通行の励行、横に広がらないこと。
	9	本校のいじめ防止基本方針に基づいて、いじめ防止対応の取組をしている。	A	・「いじめ実態アンケート」を毎月行い、該当児童や保護者との面談等、職員の組織的な対応を行っている。 ・「いじめ」については夏季休業中に教職員研修を実施し、理解を深めることができた。	
	10	規範意識を高める指導に取り組んでいる。	B	・「あさひっ子の約束」の確認を年度当初に行い、教職員の共通理解を図った。 ・下校時の児童の様子について、保護者・地域の方からご指摘をいただくことがあった。	
健康教育	11	体を動かすことを楽しむ児童を育成する体育に積極的に取り組んでいる。	B	・今年度もコロナ禍のため、活動に制限はあったが、その中で運動会・体育大会・長距離走大会などを実施することができた。 ・児童は、限られた機会であったが、存分に体を動かす姿が見られた。	・外で思いっきり遊ぶことができず、体力や筋力が維持できているかどうか心配です。 ・コロナの影響で大変でしょうが、工夫して努力をしてください
	12	栄養バランスのとれた規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する	A	・給食指導は栄養教諭を中心に、食育の観点を大事にし、家庭への啓発を継続している。	

		る意識を高めている。		・アレルギー対応は、今後も保護者との連絡を密にし、事故0とし継続する。	い。(走る・投げる・跳ぶなど)
	13	健康安全な生活について年間指導計画に基づいて指導している。	A	・児童の体調等に対する報告・連絡・相談体制が確立されている。 ・感染症対策に全教職員一丸となり取り組み、環境整備の充実・日々のアルコール消毒・換気の徹底・手洗いの励行等を継続した。	
学習環境	14	温かさや潤いのある学ぶ環境(教室の整理や掲示物を整える、除草や花壇に整備等の望ましい環境)づくりを進めている。	A	・掲示ボランティアをお願いしている体育館前掲示板の掲示、階段フロアの掲示は大変好評であり、HPでも周知している。 ・校庭の除草、樹木の剪定、朝日山整備は、学校応援団・おやじの会をお願いしているが、コロナ禍の中で活動に制限があり、緊急事態宣言下の中で、手が行き届かなくなった時もあった。 ・運動会に向け、児童用テントの購入を進めた結果、無事に安心・安全な運動会が実施できた。	・植物はきれいに管理されています。今後も継続してください。 ・校内掲示板は学年ごとに様々なものがあり、学年の目標や学習内容など様子がわかり、続けていただきたいと思えます。 ・南校舎から体育館へとつながる渡り廊下が雨の日に水が溜まり滑りやすくなっているようで、何度か児童が転倒する場面がありました。(たまたま外掃きの時で靴底が減ってすべりやすくなっていたかもかもしれませんが…) 対策がむずかしいと思いますが、検討していただければと思います。
	15	施設設備の点検を行い、危険箇所の改善に努めている。	A	・安全点検は、毎月10日に実施。 ・安全点検において指摘された修繕が必要な箇所を、直ちに修繕をして、学校内でできる修繕については、ほぼ100%改善している。	
	16	教材備品を充実整備し、学習環境の充実を図っている。	B	・教材備品の整理、台帳確認は例年、夏季休業中に集中的に行っているが、職員の入れ替わり等もあり、うまくできていない分掌等もあった。 ・施設設備の老朽化、予算等との関連、ICT機器の急速な導入の必要性から、充実した教材備品の補充等に課題がある。	
教職員の資質向上	17	服務規律の確保(信用失墜行為、職務への専念、守秘義務等)に努めている。	A	・毎月、職員会議後にチェックシートを実施し、自己を振り返る機会を設定した。 ・校務支援ソフトを活用し、教職員の声を広げるボトムアップ型の研修やワークショップ型全体研修を実施し、不祥事根絶に向けた職員の意識を高めることができています。	・すでにやるべきことはやっていると感じています。さらなる実現をお願いしたい。 ・時間外時間80時間以上勤務者が減っていると聞き、学校としての取組の成果が出ていると考えます。
	18	前年度より指導力(授業・学級経営・生徒指導等)が向上している。	A	・学校課題研究(特別活動)の充実により、コロナ禍の中でも、教職員の声を生かしながら、指導力向上につながった。 ・ギガ・スクール構想に向けたICT機器の操作が一人一人に定着し、学級閉鎖時等のオンライン学習の充実につながっている。	
	19	業務改善に努め、在校時間の時間外時間が80時間を超えないようにしている。	B	・負担軽減につながるように、業務改善推進会議を立ち上げ、取り組んでいる。 ・時間外時間は前年度より減ったが、業務の効率化に工夫が必要である。	
家庭・地域との連携	20	保護者・地域から意見を聞くように努め、寄せられた意見や要望について、可能なことは対応するよう努めている。	A	・保護者・地域の方の要望には、誠実、迅速に対応している。 ・例年どおりの活動が行えなかったため、学校の教育活動を理解できていない低学年の保護者を中心に意見・要望が多かった。いただいた意見や要望は校内で共有し、組織で対応するよう努めた。	・情報はホームページだけでなく面談が基本と思うので、大変ですが、心がけてください。 ・コロナ禍2年目になり、感染者も減少しマスク生活ではありますが、子供たちもようやく普通の学校生活を送れるようになり、少し安心していきます。ホームページの「今日のメニュー」昼食の写真とコメントを楽しみにしています。
	21	授業公開や懇談会、学年・学級便りを通して、教育活動の様子や課題等について情報を発信している。	A	・感染防止対策を実施しながら、懇談会(4月)・学校公開(11月)を実施した。 ・学校公開は午前中(分散開催)とし、午後から児童のあさひっ子クイズ大会を校庭で実施し、保護者に参観いただいた。 ・保護者からは、オンライン参観・面談実施の要望が寄せられた。音楽朝会実施後の動画視聴による振り返り等を週末、各家庭で実施した。今後、よりよい在り方について研究を深めていく必要がある。	
	22	学年等のHPの情報を更新するよう協力している。	A	・HPの運用が軌道にのり、林間学校や修学旅行の行事の時には、閲覧数ランキングが瞬間的に全国トップになった時もあった。	

\*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。